

平成 29 年度 第 1 回 嘉瀬川・六角川・松浦川学識者懇談会

【議事概要】

日 時：平成 29 年 9 月 4 日（月）14：00～17：00
場 所：武雄河川事務所佐賀庁舎 1 階会議室

【委 員（敬称略 50 音順）】

佐賀大学大学院 教授	（委 員）大串 浩一郎
佐賀大学 名誉教授	（委 員）古賀 憲一
佐賀大学 教授	（委 員）野間口 眞太郎
佐賀大学 教授	（委 員）山西 博幸
佐賀大学 教授	（委 員）山本 長次
佐賀大学 名誉教授	（委員長）渡邊 訓甫

【委員長の選出】

○ 昨年度に引き続き、渡邊委員にお願いすることで全会一致。

【規約等の確認】

- 規約について再確認。会議の公表及び議事概要の公表について再確認を行った。
- 委員長より、規約第 4 条に基づき、委員の 2 分の 1 の出席を確認。本懇談会が成立していることを認める。と宣言。

【議事要旨（委：委員、事：事務局）】

1) 六角川水系河川整備計画の点検について

- 委：ヨシの植生管理について、左右岸で整備内容が変わると、高水敷まで水位が上がった際、粗度が右岸と左岸で変わるため流況が変わりガタ土の堆積状況が変わる事などが想定される。出水時にモニタリングを行った方がよい。
- 委：粗度を変えたシミュレーションは簡単にできると思うので、一度実施してはどうか。
- 事：検討する。
- 委：水防災意識社会の取り組みについて、「氾濫水の排水、浸水被害軽減に関する取組」とあるが、六角川流域で、外水氾濫に限った対策であるとあまり効果がないのでは。
- 事：六角川水系については、外水氾濫より内水氾濫の発生頻度がかかり高いことを十分認識しており、内水対策も含め検討を行っていく。

委 : 水防災意識の向上の取り組みとして、浸水想定区域図等をホームページ等で公表しているとあるが、地域住民がホームページを見ただけで、水防災意識が醸成されるか疑問。

事 : ホームページに公表するだけでは、効果は不十分であると思われるため、出前講座の実施や学校と連携した防災教育、防災マップ作りのような取り組みについても引き続き実施し、防災意識の向上に努める。

委 : 河道掘削に伴う、動植物の生息環境の把握について調査を実施しているのであれば、非常に有用な情報になるので、情報共有していただきたい。

事 : 工事実施の際は、その箇所の特性を踏まえた設計を行わなければならないと考えているため、今後検討していきたい。

2) 六角川直轄河川改修事業の事業評価について

委 : 危機管理型ハード対策・堤防裏法尻補強について、優先順位はどのように決めているのか。

事 : 越水リスクの高い地区を対象として、背後地の資産の状況等により優先度をつけている。

委 : 費用対効果の評価に、逃げ遅れゼロの取り組みやハザードマップの作成支援など、ソフト対策として努力している部分を反映できないか。

事 : 費用対効果の評価は、貨幣換算できるものについて評価を行っているところ。費用対効果とは別の議論になるかもしれないが、減災協議会等の取り組みの中でソフト対策の「見える化」について知恵を絞りたい。

3) 松浦川水系河川整備計画の点検について

委 : 松浦川は勾配が急であり、いったん氾濫するとその氾濫流の流速は大きいものになると考えられる。氾濫流の流速や水深などの時系列データは整理しているのか。自治体に情報提供はしているのか。

事 : 今後、そのような情報を提供できるようになる。さらに、わかりやすい情報の示し方を検討する。

委 : 水防災教育と同時に、水環境教育にも取り組むべき。

事 : 川の恐ろしさだけでなく、川がもたらす恵みについて教えることも重要と考えており、今後も教育機関と連携して水環境教育を進めていくつもりである。

- 委 : 河川管理施設の長寿命化整備の優先順位はどのように決めているのか。
- 事 : 各施設を点検し、老朽化の具合を個別に把握して補修の必要性の有無を判断している。計画的に補修を行う事により、長寿命化を図っている。

4) 松浦川直轄河川改修事業の事業評価について

- 委 : 今年度の九州北部豪雨では、橋梁部が流木や土砂により閉塞し被害が拡大している。松浦川は狭窄部を流れている区間が多いので、同様の状況が発生した場合の危険箇所等の把握はできているのか。他県の災害を見て佐賀県内でも対策を考えておく必要があるのではないかと。
- 事 : ご指摘の視点では精査できていない。今後、取り組みを考えていきたい。
- 委 : 流木の話は非常に深刻。流木は流況にも大きく影響する。流木の発生源があるのか確認を。橋梁の架け替え時には流木対策も考慮すべき。さらに、場所によっては流木止めも必要かもしれない。
- 事 : 他河川の取り組みとして、堤防整備の際に流木溜まりを整備した事例があり、一定の効果があったと聞いている。大変重要な事なので、少しお時間をいただき整理をしたい。

5) 松浦川総合水系環境整備事業の事業評価について

- 委 : 護岸の整備について、ポンチ絵には砂浜にも人がいるが、アクセス箇所は橋梁のたもとしか無かったと思う。安全面で問題ないのか。
- 事 : 橋梁のそばだけでなく、下流側にも階段を設置する予定。
- 委 : 対応方針（原案）について、河口部地区についての記述があるが、今回は駒鳴地区もあることから、駒鳴地区にも言及する事。
- 事 : 追記する。

6) 最後に

- 事 : 最後に、六角川・松浦川の直轄河川改修事業及び、松浦川の総合水系環境整備事業について、事業継続についてはご了承いただいたということによろしいか。
- 委 : 異議なし。